

西予市溪筋地区 地域づくり計画書



愛媛県西予市野村町溪筋地区

溪筋自治振興協議会



美しい大判山大野山・稲生川・国道441号で結ぶ
安らぎの里 たにすじ

1 はじめに

～溪筋地域づくり計画書について～

平成23年度から西予市地域づくり交付金事業が始まりました。この事業は、西予市が「自分たちの地域は自分たちの手で」をモットーに、地域住民が主体的に取り組む地域づくり事業に対して、交付金等による支援を行うものです。

溪筋地区ではこれまで地域づくり検討委員会が、地域づくり計画書を基に『地域発「西予地域づくり」事業』を実施して参りました。

溪筋でも令和5年度から地域づくり活動センターにおいて新しい体制で事業を進めていきます。これまでの経験や反省点をいかし、より良い溪筋を目指し「地域づくり計画書」の見直しを行いました。

「こんな溪筋に住みたい。」「このような溪筋になってもらいたい。」など、言わばこの「地域づくり計画書」は、未来の溪筋地区民（溪筋人）へのメッセージであり、溪筋に住む私たちが主体となって、溪筋地区の課題解決やこのような地域でありたいという夢を実現するための活動や行動を示したものです。



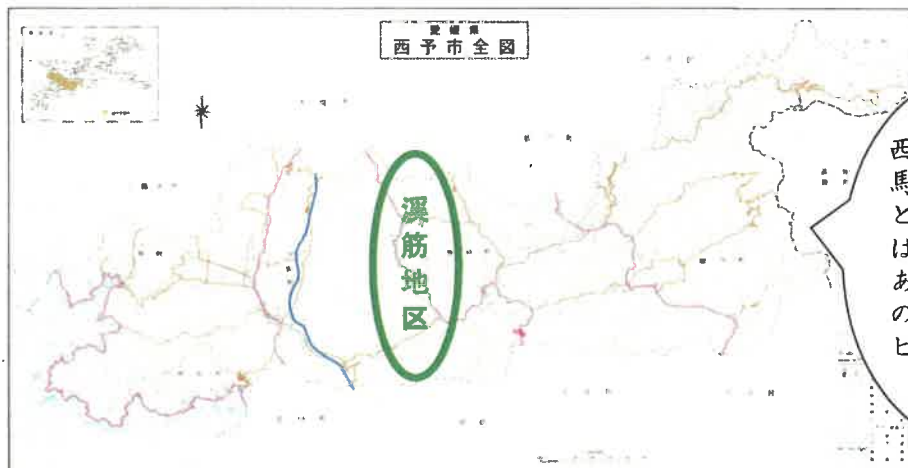
2 溪筋はどんなところ？

～溪筋地区の概要～

(1) 溪筋地区の特性

溪筋地区は、西予市のほぼ中央に位置し、北側を大洲市、東側を中筋地区、南側を明間地区、西側を田之筋地区と隣接し、地区をほぼ南北に流れる清流稲生川とその支流に集落や田畑が点在する「緑と清流の里」です。

土地の大部分は山林で占められており、特に西側は大判山、大野山といった800m級の山々が広がっています。また、稲生川沿いに国道441号が通っており、大洲市市街地や松山自動車道西予宇和インターとも自家用車で30分圏内と交通の便に比較的恵まれている地域でもあります。



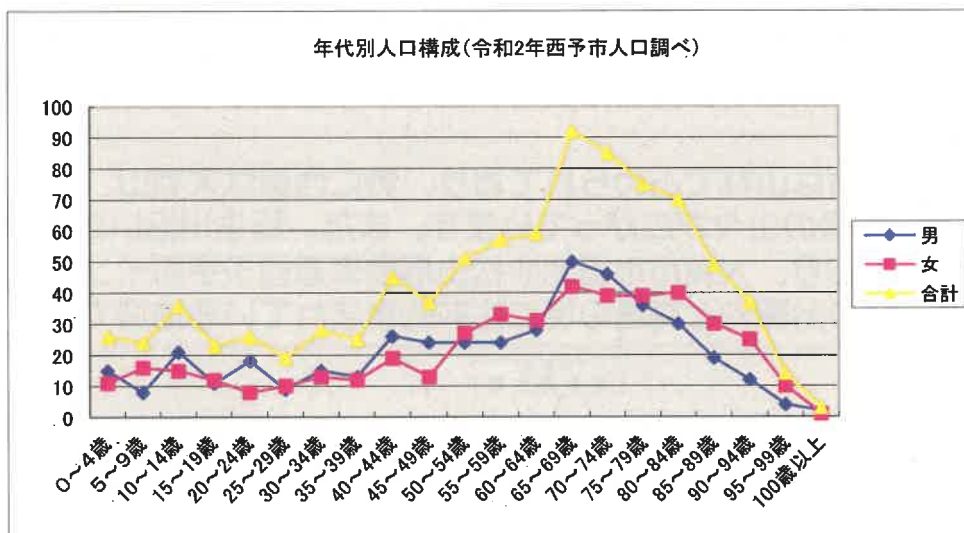
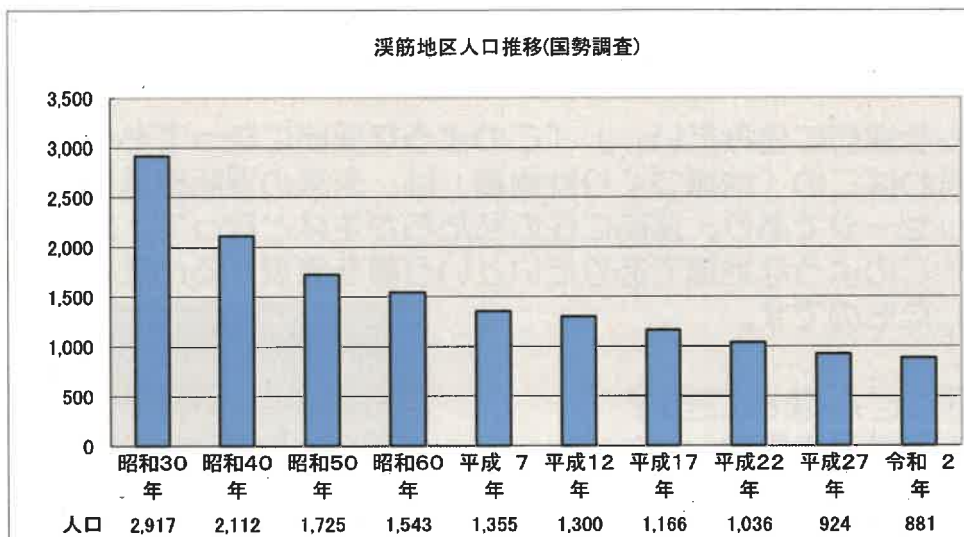
西予市の形を馬にたとえると、溪筋地区はお腹から腰あたりになるのかな・・・ヒヒン

(2) 人口の推移、予測

新野村町となった昭和30年国勢調査の溪筋地区の人口は、2,917人でした。それから65年後の令和2年同調査では、881人と昭和30年と比較すると約30%程度の人口になっています。

また、令和2年度の国勢調査のグラフのとおり、60歳以上の人口が全体の約55%を占めており、20歳以下が12%程度となっています。

今後も他の地区からのUJターン者が多くは見込めない状況であり、年少人口をこれ以上減らさないようにしなくては、今後も人口減少が続き、いずれは集落の維持が困難になってくることが予測されます。



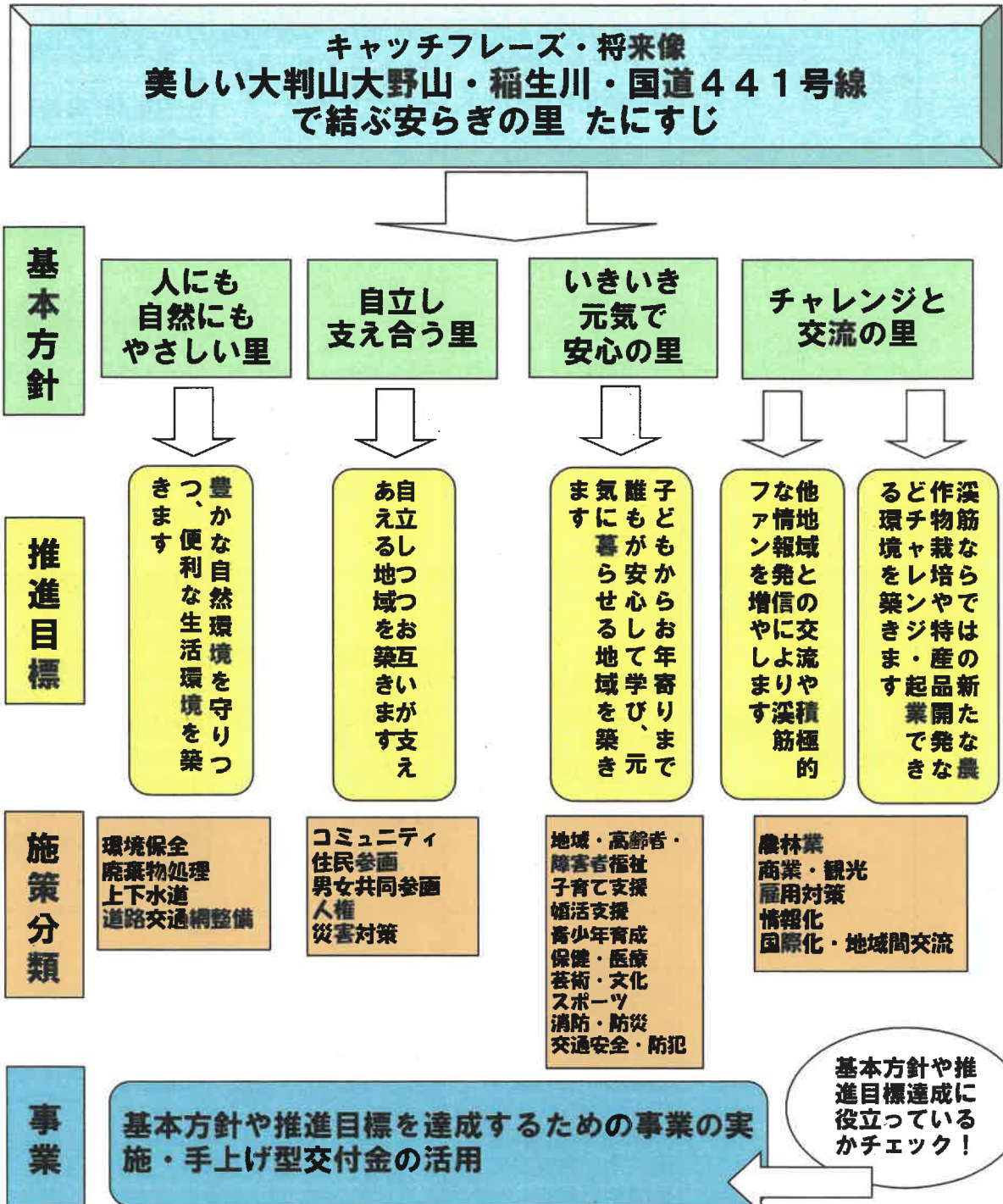
直近の国勢調査と10年前同調査比較

年度	人口			世帯数	年少人口	生産年齢人口	老年人口
	男	女	合計		0~14歳	15~64歳	65歳以上
平成22年	509	527	1,036	405	102	517	417
令和2年	435	446	881	382	86	370	425
増減	-74	-81	-155	-23	-16	-147	8

3 こんな溪筋を目指します！

～基本方針、推進目標～

このような溪筋地区の現状をふまえ、平成23年度から推進している基本方針や推進目標達成のために必要な事業を实践し、定期的に内容を検討し、より良い地域づくり事業を行っていきます。



溪筋自治振興協議会では地域の方からの情報、ご意見をしっかり事業に反映させていきたいと考えております。『こんなことやってみたい』『こんなことで困っている』等ありましたら、お気軽に溪筋公民館までご相談ください。

キャッチフレーズ	基本方針	推進目標	施策分類	事業内容	
「美しい大判山大野山・稲生川・国道441号線で結ぶ安らぎの里 たにすじ」	I 人にも自然にもやさしい里	(1)豊かな自然環境を守りつつ、便利な生活環境を築きます	環境保全、廃棄物処理、上下水道、道路交通網整備	②生活道補修原材料支給等事業 ⑤生活道維持管理事業 ⑧国道441号線等環境美化事業	手上げ型交付金の活用
	II 自立し支えあう里	(1)自立しつつお互いが支えあえる地域を築きます	コミュニティ、住民参画、男女共同参画・人権、災害対策	①安全で快適な施設環境づくり事業 ⑩分館活動支援事業 ⑪地域任用職員雇用事業	
	III いきいき元気で安心の里	(1)子どもからお年寄りまで誰もが安心して学び、元気に暮らせる地域を築きます	地域・高齢者・障害者福祉、子育て支援、婚活支援、青少年育成、保健・医療、芸術・文化、スポーツ、消防・防災、交通安全・防犯	③伝統文化財管理・改修事業 ④健康・体づくり環境整備事業 ⑥地域活性化イベント開催事業 ⑦地域防災機能向上及び拠点整備補助事業 ⑨各種団体教室開催支援事業	
	IV チャレンジと交流の里	(1)溪筋ならではの新たな農作物栽培や特産品開発などチャレンジ・起業できる環境を築きます (2)他地域との交流や積極的な情報発信により溪筋ファンを増やします	農業、林業、商業、観光、雇用対策、情報化、国際化・地域間交流	⑥地域活性化イベント開催事業	